

学習指導要領		都立東村山西高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史</p> <p>世界史へのいざない</p> <p>歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>○人類の誕生から農耕牧畜の開始について学習し自然環境が人間生活に大きな影響を与えることと人類の活動がその影響にたいして積極的に対応してきたことを理解する。</p> <p>○日本列島の地理的位置を理解する。</p> <p>○ユーラシア大陸の終着点という位置から、さまざまな文物、分解、宗教などが大陸から流入したことを理解する。</p> <p>○世界の歴史と日本の歴史が密接に関係していることを理解する。</p>	
	<p>(2) ア ユーラシアの諸文明</p> <p>世界史の一体化と日本</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本</p> <p>大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p>	<p>○ユーラシアの諸世界について学習し、東アジア・東南アジア・南アジア・西アジア・ヨーロッパ世界の諸文明の特徴を理解する。</p> <p>○諸文明間の交流について、シルクロードや海の道を学習しながら、その交流の歴史を理解する。</p> <p>○大航海時代直前の諸文明の特徴を理解する。</p> <p>○大航海時代を準備する西ヨーロッパの社会的背景の理解。</p> <p>○「地理上の発見」にヨーロッパ社会の変動を理解する。</p> <p>○ヨーロッパの主権国家やアジアの諸帝国への理解</p> <p>○大西洋革命の背景と事象を理解する。</p> <p>○産業革命前の世界の「一体化」状況の理解</p>

学習指導要領	都立東村山西高校 学カスタンダード
<p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>(3) ア 急変する人類社会 地球社会と日本 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p>	<p>○産業革命と資本主義の確立について理解する。 ○大西洋革命の具体的な理解とその意義の理解 ○自由主義。国民主義への理解と国民国家形成の過程を理解する。</p> <p>○工業化を背景としたヨーロッパ列強のアジア進出について理解し、植民地化について認識を深める。 ○世界の一体化と日本の一体化の関係を理解し、その意義を理解する。</p> <p>○「帝国主義時代」の背景と具体的事象について ○世界システム論的な世界の本格的な一体化の理解</p> <p>○帝国主義国の関係とアジア・アフリカの植民地化と対応への理解 ○二つの大戦への原因と過程を理解する。</p> <p>○冷戦とアジア・アフリカの民族運動を理解する。 ○アジア・アフリカ諸国の諸問題を理解する。</p>

学習指導要領	都立東村山西高校 学カスタンダード
<p>エ 地球社会への歩みと課題 1970 年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>○地域社会とくに EU について学習し、その意義を理解する。</p> <p>○今までの学習を前提に、現在の諸問題について歴史的観点から概観させ、その解決策について考える。</p>